

岡本眸の秋の句

癩性に階拭きこめり葉鶏頭  
柱に燈うつり露けき家のなか  
白露や匂によめぬこと詠まぬこと  
秋草に顔押しあてて睡りたし  
野分中別れて色を失くし合ふ

松岡隆子 抽